

求職活動の進め方と

ハローワークの就職支援メニューのご案内

* 面接時の確認事項 アドバイス2

労働条件だけでなく、企業理念や事業の方向性、社員のための福利厚生、キャリアアップのための研修制度、社風なども聞いてみましょう。

* 面接を受ける場合 アドバイス1

面接時間に遅れないように時間に余裕を持ちましょう。時間に遅れそうになった場合や、都合がつかなくなった場合は、必ず会社の採用担当者に連絡してください。

就職 (ゴール)



* 就職が決まったら アドバイス3

労働条件等を書面(労働条件通知書または雇入通知書)で受け取りましょう。

ステップV

応募しましょう!

ハローワークの相談窓口で紹介。
(ハローワークで紹介状を受け取り、面接の予約や選考場所等の確認。)
求人事業所の情報を収集し、人材ニーズを把握することが大切です。
自信を持つことが好印象につながり、やる気や熱意を伝えるには、あいさつと身だしなみが基本です。

ステップIV

応募・面接の準備

ハローワークの相談窓口で確認。
(履歴書や職務経歴書の作成、面接のマナーや心構えについてアドバイスします。)
応募書類、面接対応等に不安がある場合は、セミナーなどを受講しましょう。



ステップIII

求人を探す

応募したい求人を探しましょう。見つからないときはステップIやステップIIに戻り、希望条件を再検討しましょう。
・窓口で相談しながら求人情報の収集
・ハローワークインターネットサービスで求人情報検索

ステップII

職種や労働条件の決定

就きたい仕事、働きたい条件を決めましょう。
・こだわる条件
・譲れる条件
など、あらかじめ決めておくことで仕事選びがスムーズです。迷った場合は窓口にお気軽に相談を。



セミナーなどへの参加

- 就職支援セミナー
- * 自己分析、自己理解の支援、求職活動の進め方等について
- * 履歴書や職務経歴書の書き方
- * 面接の受け方やマナーについて
- 事業所相談会等
- * 事業概要や労働条件など、直接採用担当者から説明を聞けます。ぜひご参加ください!

職業興味検査などの実施

- 「自分に合う職業を知りたい」
職業情報提供サイト「jobtag(ジョブタグ)」を活用して、仕事への「興味」「価値観」「能力面の特徴」から適職を探索できます。
- そのほか、自分の強みや課題を分析したり、気になる業界の職業を調べてみたり、様々な職業情報が得られます。詳しくは窓口まで!

職業訓練の受講あっせん

- 公共職業訓練のコース
- 求職者支援訓練のコース
- 様々な訓練コースがあります。それぞれ対象となる方、募集人員、募集期間、訓練期間が異なりますので、受付までご相談ください。
職業訓練施設による「職業訓練説明会」も開催していますので、ぜひご参加ください。

生涯現役支援窓口

- 概ね65歳以上の方を対象に、就職の支援を行います。
- シニア世代の方の採用に意欲的な企業の求人情報や多様な就業ニーズなどに対応した情報を提供します。
- 履歴書、職務経歴書の書き方や面接の受け方、求職活動の方法などに関して窓口でご相談できます。

ハローワークでは、皆さまの求職活動を様々な方法で応援しています。
おひとりでも悩まずに、窓口までお気軽にご相談ください。



求職活動の 進め方

ステップI

自己分析と労働市場分析

まず自分を知ることが大切。興味を持っている仕事や経験がある仕事などについて、現在の状況をしましょう!

- ・今までしてきたこと、今できること、これからやりたいこと
- ・求人の数が多い/少ない、どのような求人がどのくらいの条件なのか
- ・就職支援セミナーへの参加や職業情報の収集

求職申込 (スタート)



求職活動支援メニュー

職業相談窓口での支援

- 1 就職に関する相談
●就職に関する様々な相談ができます。
・どんな仕事か自分に合っているのか? ・履歴書や職務経歴書の記入の仕方は? ・資格を取得するには?
・職業訓練を希望したい ・早期に就職したい(専任の担当者による「担当者制」が利用できます。)他
- 2 求人条件等の確認や応募状況の確認
●求人条件(年齢、学歴、経歴や資格)に一部合致しない場合でも、応募可能かどうかハローワークが照会します。また、求人票に記載のない様々な事業所情報や、その時点での応募状況も確認できます。
- 3 求人情報の提供
●応募先に迷った場合は、窓口担当者に相談しながら、一緒に適格な求人を探します。
●近隣地域以外の求人も相談窓口で提供することができます。
- 4 応募先への紹介
●応募したい会社(求人)が決まったら、ハローワークから求人事業所に応募の連絡を入れ、面接日時や選考場所等をご案内します。